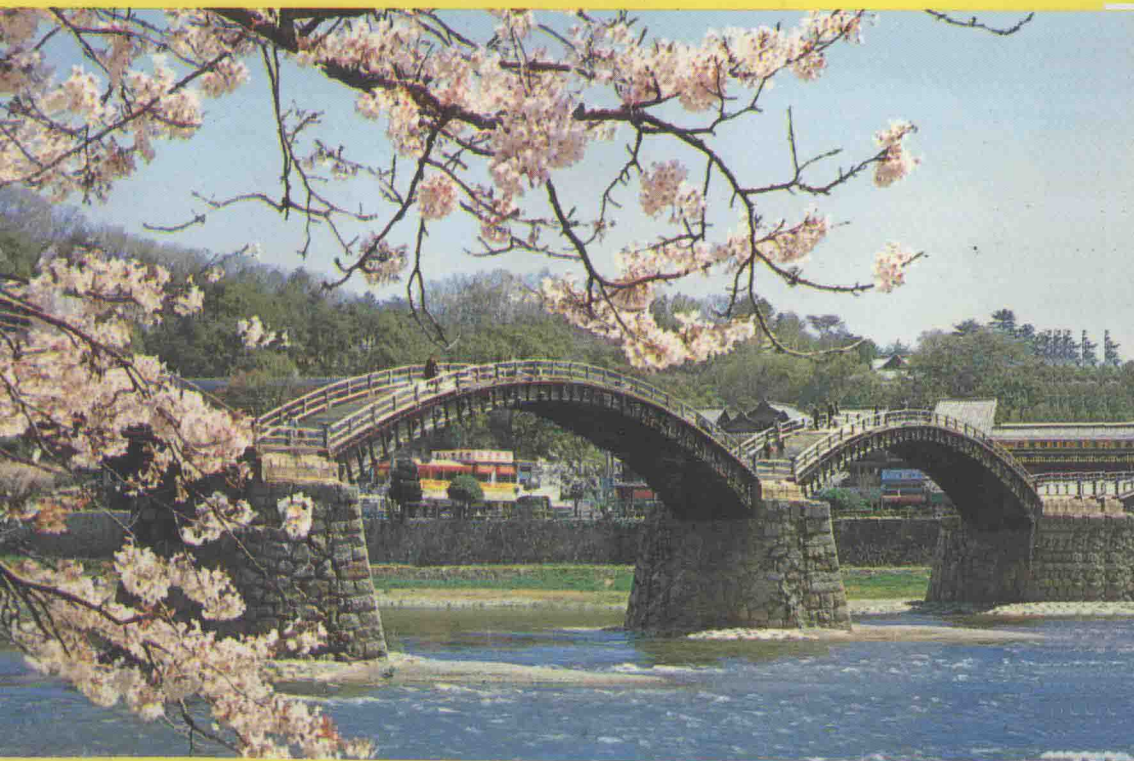


日語1000句 句型分類解析

藍三印 編譯



文翔圖書公司印行

日語1000句

句型分類解析

藍三印 編譯

文翔圖書公司印行

編者的話

近年來由於中日兩國間貿易和國民間往來的頻繁，所以對日語的需求也與日俱增，相對地，日語讀本及錄音帶充斥坊間，真是滿目瑯，數量成長之速，真是空前未有。學習者真不知如何選擇。然而，對日文有深入研究的學者而言，那只是量的龐大而已，換言之，在質的方面，大多是千篇一律的初中級教本，甚少突破性創作。隨著時代不斷進步和發展，邇來國內高呼工業升級，事實上，語言教材同樣也要求質的升級，無論是教材或教學方法上都必須提升，不可再因循天下文章一大抄的傳統和以不變應萬變的教授方法，必須要有不進步就是落伍，甚至進步緩慢也是落伍的觀念，不斷求進步，將今後的語言教學帶入一個新的紀元。

基於以上的信念，筆者身為心理學者，願意提供多年在日本的留學經驗，並且將學習和語言心理學的原理，加以試驗與應用，為語言界貢獻區區之力，希望能發揮拋磚引玉的作用，激發有識之士共同奮鬥。

本系列承蒙文翔書局朱文章先生的支持和內子康淑娥的協助，始能依照計劃陸續問世，謹此表示由衷的謝意。編者也希望讀者及海內外專家學者共同參與，隨時提供寶貴的意見和指正，俾使本系列得以不斷改進和充實。

藍 三 印 謹識

于國立政治大學
心理研究所

七十二年四月廿日

編譯者簡介

藍 三 印

台灣省台北縣人

民國六十一年日本政府國費外國留學生

國立政治大學文學士

日本國廣島大學文學碩士、文學博士

現任教於國立政治大學

重要譯著

- 一、大學日語讀本（天馬）
- 二、世界文明史六——基督教文明史（地球）
- 三、教育の基礎としての學習心理學（日本北大路）
- 四、當代心理學——生平與學說（天馬）
- 五、從睡相看個性（天馬）
- 六、生活中的心理學（天馬）
- 七、廣告心理學（天馬）
- 八、由英文學德文（衆文）
- 九、蛻變的管理（中國生產力）
- 十、新編日語讀本（幼獅）
- 十一、太空航空博物館（出版家）
- 十二、NHK原音日語新聞廣播專集（衆文）
- 十三、NHK日語電視劇專集（衆文）
- 十四、有聲日語慣用語專集（衆文）
- 十五、有聲日語童話專集上冊（衆文）
- 十六、有聲日語童話專集下冊（衆文）
- 十七、日語1000句型分類解析（文翔）
- 十八、NHK日語演說專集（文翔）

目次

1. 断定	(体言)は確実(だ).....	1
2. 推量・估計	さぞ(かし)…だろう(でしょう).....	6
3. 判斷・見解	(体言)・(活用語連体)にすぎない.....	11
4. 結果・終局	(句)結果になる.....	21
5. 假定	もし…(活用語假定)ば.....	23
6. 態度・傾向・轉變	(句)という状態(だ).....	35
7. 同時	(活用語連体)一方.....	47
8. 共同・關係・相同	(体言)とタイアツプして.....	48
9. 可能	(動詞連体)ことができる.....	55
10. 原因・理由	(活用語連体)ので.....	60
11. 比較・區別	(体言)とは対照的に.....	68
12. 根據・依據	(体言)に基づき.....	73
13. 排除・除外	(体言)をよそに.....	76
14. 樣態・傳聞	(句)そうだ.....	80
15. 程度	(体言)が関の山.....	81
16. 限定	《(体言)・(動詞連体)》しかない.....	91
17. 目的・目標	(サ變動詞語幹)めざして.....	100
18. 意圖・打算・決意	(動詞連体)つもり(だ).....	103
19. 條件	…は(体言)如何にかかる.....	109
20. 接續・順接・逆態	(活用語終止)と.....	113
21. 並列・遞進・選擇	《(体言)・(活用語終止)》だ, の 《(体言)・(活用語終止)》だの.....	120
22. 附加	(体言)に加えて…。(それに)加えて.....	127
23. 評價・立場	《(体言)・(動詞連体)》に値する.....	131
24. 時間・地點・歸著點	《(体言)・(動詞連体)》にあた つて.....	136
25. 手段・方法・材料	(体言)をもつて(もて).....	156

26. 當然・義務	(動詞終止)べき(だ).....	162
27. 内容例示・範囲・意義	(体言)について.....	166
28. 類推	《(体言)・(助詞)》さえ(でさえ).....	171
29. 被動・使役・使役被動	…に(から、によつて).....さ れる.....	174
30. 否定	(もとより)(体言)もあらばこそ(…ない).....	176
31. 命令・禁止・許可	(動詞連用)なさい.....	180
32. 希望・願望・勧告	(動詞連用)てほしい.....	183
33. 疑問・反問	いつたい…か.....	188
34. 感動	どんなに(活用語終止)か(わからない).....	190
35. 其它	(体言)に課せられた(体言).....	191
句型索引(依五十音順序).....		卷末

斷 定

1. (体言)は確實(だ)
2. (活用語連体)ことは確か(だ)
3. 必ず(動詞連体)に決まっている
4. (体言)は間違いない
5. (体言)は疑いない
6. (体言)は必至(だ)

表示《確實》《可靠》。根據斷定的強意程度分成以下三種類型，強意程度由(1)到(3)逐漸加強。

《區別》

- (1) ……は確實(だ)……ことは確か(だ)。必ず…に決まっている
「確實……」；「一定會……」，用於根據可靠依據作斷言。

▲いづれも，今日13日に予定されている都議会本会議で可決，成立するのは確實。

這些一定會在今天(十三日)預定召開的東京都議會全體大會上通過成立。

▲「総選挙以後では遅すぎる」という考えが兩独代表の間で強まってきたことは確かである。

「總選舉之後未免太遲」的想法在東西德代表之間確實已經日形強烈。

▲日本国民の北方四島返還要求の正義の戦いは，必ず最後の勝利をおさめるに決まっている。

日本國民要求歸還北方四島正義之戰，一定會取得最後勝利。

▲甘えさせると「今日の練習も休ませてくれ」と言うに決まっている。

要求不嚴就一定會有人提出「今天的練習，我不參加」的要求。

- (2) ……は間違いない。……は疑いない

「……是確定無疑的」；「肯定的說是…」；「…是毫無疑問的」；「一定」。用於強調自己的斷言有可靠依據。

▲今年度上半期の生産計畫の超過達成は間違いない。

今年上半年的生產計劃是一定可以超前。

▲薄氷の勝利でめつたことは間違いない。

可以肯定地說是勉強取勝的。

▲世界の石油需要が大幅に上昇する70年代の情勢は，産油国に一層有利に展開するでめろラことは間違いない。世界性石油需求大幅上升的七十年代形勢，無疑地將對產油國更加有利。

▲この選舉で彼が圧勝することは疑いない。

他一定可以在這次選舉上獲得压倒性的勝利。

▲この研究が成功すれば，学界に大きな衝撃在與えることは疑いない。

如果此次研究成功，無疑地將給予學術界重大的衝擊。

(3)……は必至(だ)

「一定要……」「勢必是……」。用於強調事態發展的必然趨勢。

▲あすのゼネストは必至。国電除き，マヒ状態か。

明天的總罷工一定會進行。除國營鐵路外可能會處於癱瘓狀態。

▲こうした情勢の中で，国債在大幅に増発することはえれが市中消化されるにしてま，インフれムード在刺激することは必至だ。

在這種形勢下，即使大幅度地增加國債發行量，並且銷售一罄，經濟蕭條也勢必更加嚴重。

7. (体言)こそ(体言)なり

▲團結こそ力なり。

團結就是力量。

口語和文語的結合体句型〔(体言)こと(体言)なり〕常出現在口語中，表示の《提示》《強意》②《概括》《定義》，一般借用「なり」的強意作用加重断定語氣。

8. きまつて(体言)だ

「無非……」「勢必是……」

▲彼女は，外出の時にきまつてワンピースだ。

她外出時一定穿連衣裙(洋裝)。

▲観光旅行の場合は，きまつて京都か奈良だ。

若是觀光旅行，那一定會前往京都或奈良。

9. (体言)にはかならない

「就是……」「肯定是……」「不外(是)…」「無非是……」。

▲こどもの幸福は，両親の心からの願いにはかならない。

父母的心願無非是兒女的幸福。

▲マラソンは，結局のところ自分の意志との闘いにはかならない。

10. (体言)は至難

「……是極其困難」「……難以實現」。

▲これほどのスピード建設は至難でめつたことと思うと，あらためて敬意の念をおぼえた。

想起此種超速建設之艱難，不禁令人再度掀起敬佩之意。

▲藥劑をそろえることは至難であるのに，とにかくの難病在完治することは全く驚いた。

雖然藥劑得手極其不易，但是終究治好疑難大症，令人十分驚奇。

11.文字通り

「不折不扣」，「的的確確」，「名符其實」，「到到地地」。

▲文字通り，手に汗にぎる熱戦で，見事なプレーが続出。

名符其實的捏把冷汗的熱戰，精彩的比賽層出不窮。

▲今大会は，文字通り團結・勝利の大會として恥じないものでめつた。

現在的大會不愧爲到到地地的團結和成功的大會。

12. (体言)は明らかだ

13. (体言)は目に見えている

「顯然是……」「……是清楚明白的」。

▲条件づくりのむずかしさもあつて，時期尚早は明らかだ。

具備條件也是一大難事，顯然是爲時尚早。

▲両チームの実力の差は明らかだ。

兩隊實力的差距極其明顯。

▲このままでは，行きづまるのは目に見えている。

如此做法，顯然是此路不通。

14.まさに，(体言)(なの)だ

15.まさに，(体言)じゃないか

「真是……」「還不真是……嗎」。

▲この小説は，まさに，彼の力を出しきつた労作なのだ。

▲都会に出ても，暮らしがよくなるわけではない。職があればよいほうで，重労働と低賃金だけが待っている。まさに，去るも地獄，残るも地獄じゃないか。

前往大都市未必生活就會改善。若有職業還可以，否則只有忍受繁重的工作和廉價的工資的蹂躪，豈不是去留都是死路一條。

16. もはや、（体言）ではない

「不再是……」。

▲これはもはや彼一人の問題ではない。

這已經不再是他個人的問題了。

▲もはや，過去の戦争状態のままではなく，友好的におつき合いをする状態となつた。

已經不再是過去戰爭的狀態，而是友好相處的狀態了。

17. なにしろ，（体言）が（体言）だ（から）……ない

「因為是…所以不能…（或不行，沒有，沒辦法）」「反正…因此，很難…」。

▲なにしろ，問題が問題だから，そり簡単にはできそりにない。

因為是辣手的問題，似乎並非可以輕而易舉地解決。

▲あそこの交通並びに地理（立地）条件がめめいりもんだかりねえ，なにしろ……。

因為那裏的交通狀況和地理條件是如此，所以不能……。

18. （体言）でなければ…つまり（要するに）…だ

19. （体言）でなければ…ほかでもない，…だ

「不是……就是」

▲タイヤの穴のめき具合からみて，画ビヨウでなければつまり（要するに）クギだね。

由輪胎的破損情形來判斷，若非是圖釘就是鐵釘。

▲この善行は，Aさんがやつたのでなければ，ほかでもない（く），Bさんがやつたのだ。

此種良好行為若不是A幹的就是B幹的。

20. （体言）ではなく（体言）である

「不是……而是……」

▲住みよい都市の生活環境在形成していく道は，国民一人びとりが自分の権利だけを主張するのではなく，他人の痛み在知り，譲り合い，問題を出し合つていくことである。

良好的都市居住和生活環境的形成，並非每一位國民僅強調個人的權利，而是體察他人的苦衷，互相忍讓和共同檢討問題。

▲偶然のものではなく，必然的產物であるといわねばなりぬ。

我們必須認爲它並非偶然而而是必然的結果。

21. とどのつまり，（句）といることだ

22. 結局のところ，（体言）だ

「歸根結底就是……」。

▲商品先渡し分割 いは，とどのつまり，“多売多利”の一形式
ということだ。

先交貨的分期付款總之就是一種薄利多銷的方式。

▲結局のところ，双方の誠実度の問題だ。

總之，它是双方信用的問題。

23.（動詞連用）ても差し支えない

24.（動詞連用）ても差し障りはない

25.（動詞連用）ても支障が（は）ない

「不妨……」「也可以……」。

《特点和區別》

(1)……ても差し支えない

這個句型是由（接助）「ても」和（自下ニ有妨礙）「差し支える」＋（助動詞）「ない」構成的。一般帶有微弱的斷定語氣。這種說法多用於作者或發言者謙虛謹慎地提出自己的見解，分析和估計的時候。

▲今年の中日貿易取引額は，去年の40.％増になると見積もつ（みつ）もる＝估計）ても差し支えありません。

不妨估計今年的中日貿易交易額將比去年增加百分之四十。

▲そういう意味に理解しても差し支えないでしょう。

這樣去理解，也可以吧。

(2)……ても差し障りはない・…ても支障が（は）ない

多用於強調「做了某種事後也沒有什麼不好的影響」。

▲今の回復ぶりからみて，来週には退院しても差し障りはないでしょう。

從目前的復元情況看，下週不妨便可出院了。

▲その線で交渉しても支障はないと思います。

不妨按這個精神去交渉。

26.（動詞連用）ても無理はない

27. (体言) も無理はない

「不無道理」「難怪……」「怨不得……」

▲怒つても無理はない。それだけの理由がある。

難怪他會生氣。此事足以令人發脾氣。

▲主婦たちの心配も無理ない。何しろ，こう雨が続いてはね。

難怪主婦們會擔心。如是連日的大雨。

28. (体言) は (体言) ではないか

「還不是……嗎」。

▲これは最近の新しい傾向の一つではないかと話し合っていたところですよ。

正在討論「這可能是最近的一種新傾向」的問題。

29. 大体《(活用語連体)・(体言)の》ようだ

「大概…」「大体上…」，表示《不確實的断定》。

依目前的情況來看，大概一個星期以內可以完成。

▲大体以上ご説明申し上げましたプランのようです。

大体上是如上所述的計劃。

推量・估計(見通し)

30. さぞ(かし)……だろう(でしょう)

「想必……」。

▲さぞうれしかつただろう。努力が認められたのだから。

▲それはそれは，さぞ疲れたでしょう。

31. 《(活用語終止)・(形動語幹)・(体言)・(助詞)》うしい

「好像……」，「似乎……」

▲山田さんは近ごろとても元氣らしい。

山田先生近来似乎精神十分良好。

▲この雨も夕方までらしいね。

這陣雨似乎會下到黃昏。

32. おそらく(たぶん)……でしょう(だろう)

「或許……」「恐怕……」。

▲帰りはおそらく5時ごろになるでしょう。

▲遊園會の参加者は，おそらくここだけでも5千名を上回っている

だろうね。

參加遊園會的人數，或許光這些就已超過五千人。

33. おそうく，（体言）ではあるまい

「莫非不是……」「恐怕不是……」

▲「きつと高木さんからの電話ですよ。」「いや，おそうく彼からの電話ではあるまい。」

「一定是高木先生的電話」，「不，恐怕不是他打來的電話。」

▲おそうく，それは佐藤さんの本意とするところではあるまい。
恐怕那不是佐藤先生的本意。

34. （動詞連体）のではあるまいか

「是否會……」。

▲コストのほうが，今よりは多少安くなるのではあるまいか。
是否成本方面可以比現在多少降低一點。

▲自然保護の点でも，こうした政策と保護措置は適切かつ有効的ではあるまいか。

在保護自然方面，此種政策和保護措施是否適當和有效。

35. てつきり……かと思つたが

36. てつきり……に違いないと思つたが

「我想準是……」「必定是……」

《特點》

一般下接否定，消極。因此，必須帶逆態的接續助詞「けれども」
「のに」等（否定自己過去作出的斷定）。

《區別》

(1) てつきり……かと思つたが

推量判斷的客觀依據的可靠性不是十分有把握的。

▲私の机の上に置いてあつたので，てつきり私の新聞かと思つたか，
，そうではなかつた。

我想放在我桌子上的準是我的報祇，結果併不是我的。

(2) てつきり……に違いないと思つたが

推量判斷的客觀依據較有把握。

▲てつきりばく宛の手紙に違いないと思つたが，がっかりだなあ。
我想準是我的信，結果很失望。

37. （体言）の公算強まる

38. (体言)の見通し大

「……の可能性就大了」。

▲今日中にスト解決の公算強まる。

今天以內很可能以罷工方式解決。

▲候補者全員当選の見通し大。

候選人很可能全部當選。

39. (体言)にメド

「對……有了眉目」「有一定的把握(實現)……」。

▲○○地区での海底油田開発にメド。調査ボーリングに明るい結論が出る。

○○地區的海底油田開發已有眉目。地質勘察已有明確結果。

▲建設資材調達にメド。竣工は來年の4月下旬だと決定された。

建材調度已有眉目。決定明年4月下旬竣工。

40. (体言)が予想される

「可以預料……」,「可以想像」。

▲スポーツ交流の一段の発展が予想される。

我們可以預料在体育方面的交往將會有更進一步的發展。

▲近い將來,電子工業はもつと大きな成果を収めることが予想される。

我們可以想像不久的將來在電子工業方面將會有更大的成果。

41. まさか(動詞終止)まい

「總不會……」「那能……呢」。

▲まさか雪崩が起こるようなことはあるまいね。

不太可能會發生雪崩的現象吧!

▲世話好きの彼のことだから,まさかいやとは言うまい。

喜歡幫助別人的他,總不會拒絕吧!

42. 《(体言)・(動詞終止)》かは想像がつく

「可以想像到……」,「可以推測出……」。

▲この点からおして,どれくらいの時間が必要かはだれにも想像がつくはずだ。

由這一點來推斷,誰也無法想像須要花費多少時間。

▲当時の子供たちがどういう状態の下におかれていたかは想像がつく。

當時孩子們的何種處境可想而知。

43. (体言)は無理(というものつだろう

「……是勉強的」「……是困難的」。

- ▲これだけの土をたつた5人で，2日足らずの期間に運び終えるのは(少し)無理なような氣もする。ぼくも応援に来てあげる。這麼多的土，僅僅5個人在不到二天的期間內運完，似乎十分困難。我們將會來幫忙。

- ▲「素人にはとても無理だらら」という考えを捨て，大衆の力と知恵に頼つて取り組んだ結果，りつぱな用水路を造り上げることができた。

放棄「外人簡直是不可能」的想法，絞盡大衆的智慧，終於建造完成了偉大的水渠工程。

44.《(体言)・(動詞終止)》にかたくない

文語形容詞「かたし」的未然形「かたくない」，表示(不難)之意〔＝……するのはむずかしい〕

- ▲この時間に関係国の再三の抗議にもかかわらず，ソ連がミサイル発射実験をやるねらいはどこにあるのか。それは想像にかたくない。此一時期，蘇聯罔顧相關各國的抗議，進行火箭的发射實驗，其居心何在，不難令人想像。

- ▲その苦勞は全く察するにかたくない。

其辛苦的程度完全可以明察。

45. (動詞連用)かねない

「很有可能……」。

- ▲あの連中は不法なこともやりかねない。

那伙人很可能做不法的勾當。

- ▲責任感の強い彼のことだから，大雪とはいえ，新聞配達に出かけかねない。

因為他的責任心很強，所以儘管大雪很可能去送報。

46. (……は)《(体言)・(句)》と読む

「估計……」「預測……」

- ▲誰もが一方的勝負だろうと読んだ試合だつたが，思いがけず大熱戦となり，観客は大喜びであつた。

雖然任何人都預測是一邊倒的比賽，但是料想不到却成為大熱戰，

觀衆欣喜若狂。

▲今回の選舉は自民党の壓勝と読む向きがある。

此次選舉一般而言都預估自民黨可能會大勝。

47. (体言)は免れない(まい)

「難免……」「未免……」〔＝「きつと・必ず…であろう」〕一般接在「……する(た)以上」或「……たのなう」「……だかう」「…かうには」之下。

▲君がそんなひきような態度をとるなら、皆の冷笑は免れないだろう。

你如果態度出如此懦弱，難免會遭衆人齒笑。

▲泳ぎを覚えようとするかうには、一口二口水を飲むことはどうしても免れないだろう(まい)。

如果想學好游泳，無論如何都難免要喝一、二口水。

48. (……は)と踏む

「估計……」。

▲値上がりは必至と踏み，木材などの建築資材を買い占める動きがある。

預計漲價勢在必行，已經有搜購木材等建材的動向。

▲10トンほどの砂利で足りると踏んでいるが，果たしてそれだけで間に合うかどうか。

雖然預估10噸的砂石就足夠，但是究竟僅此數量夠用與否尙是疑問。

49. (形容詞連用)とも……でしょう

「最早(多)也……」「至少……」。

▲早くとも到着は明日の朝になるでしょう。

至早也要在明天早上才能抵達。

▲一つの外国語をマスターしようということになれば，少なくとも2年の期間は必要でしょう。

如果想精通一種外國語，至少也必須要有二年的工夫。

▲高くとも二元ぐらいで買えるでしょう。

再貴大概二元也可以買到。

50. まさか…とは思ひもよりなかつた

表示意外，「萬萬沒有想到……」。

▲まさかこんな大地震になるとは思ひもよらなかつた。

萬萬也想不到會發生如此大的地震。

- ▲それにしても，まさかこんな太い丸太が折れるとは思ひもよらなかつた。

儘管如此，萬萬也想不到如此粗大的木頭也會斷掉。

51. (動詞過去) つもり

「自以爲……」

- ▲準備万端整つたつもりでいたが，実はまだ十分ではなかつた。

雖然我自以爲萬事準備已妥，但是實際上依然並不充分。

- ▲近道をしたつもりが，(実は)遠回りになつてまつた。

我自以爲是走了捷徑，但是實際上却繞了遠道。

52. (代名詞) かと(思つて)……と

「以爲……就」。

- ▲だれかと思つて受話器をとると，母からだつた。

我還以爲是誰，一舉起聽筒原來是媽打來的。

- ▲何かと行つてみると，あすの文芸の集いのことだつた。

本來我以爲是幹什麼的，過去一看，原來是「明日文藝」的集會。

判斷・見解

53. 《(体言)・(活用語連体)》にすぎない

54. ただ……というだけのこと(だ)

「只不過是……」，表示《そうであるだけで，それ以上のものではない》之意。

- ▲これは単なる参考意見にすぎません。

這只不過去供參考的意見而已。

- ▲おれには及びません。私たちはやるべきことをやつたにすぎません。

實在不敢當，我們只是幹好本份的工作而已。

- ▲そう言われるとかえつて恐縮です。あれはただ一つの試みとしてやつたというだけのことで，系統だつたものではないんです。

你們這麼一說，我反而不好意思。那只是做一種嚐試而已。

55. 《(体言)・(活用語連体)・(形動語幹)》かもしれない

「也許……」「說不定……」。